

日にち **4月13日〔日〕**

時間 **午前9:15受付開始 9:30～午後4:00迄**

会場 **金津地区 コミュニティーセンター  
1F 大ホール**

住所 **〒956-0847 新潟市秋葉区古津597番地**

電話 **0250-25-1101**

参加費 **3,300円 プラ雑費300円(会場費含む)  
U23は1,650円、高校生は無料  
(但し雑費代300円)**

内容 **※昼食は各自でご用意して下さい!  
毎日展、県展、墨雲展に向けての作品錬成  
書道用具特価販売有り**

# 墨日記

本会のQRコードが  
行事のたびに更新して  
いますので、チェックし  
て下さい。いいね！



ようやく雪国の新潟の地にも春らしい風が吹き始めました。花粉症や風邪などで苦しむ方もいらっしゃるかもしれませんが、新しい環境に移る方もいると思えば、活動しやすくなる季節です。文字通り活発に動きましょう。さて新年の行事で新年会総会、書花展、昇段級試験とこなして来ました。これから春展への出発が待ちどおしい。思い換えれば自分の実力を図るチャンスです。本会は他会より活発に活動していると自負しておりますし、優秀な会員が多くいます。何事もチャレンジです。努力を惜まらず、しっかり実力を付けていきましょう。



向って左は新年会・総会 右は第29回書花展の様子です  
袋面に各々の感想文を載せてあります。一読下さい。

広島県の熊野町は四方を山に囲まれた小さな高原盆地です。この地に熊野筆が生まれたのは、一八世紀後半。九州方面への行商から始まり、一九世紀前半には紀伊方面(和歌山)へ熊野詣をし、その帰途、奈良・有馬へ立ち寄り筆や墨を仕入れ、やがて筆作りを覚えて熊野村へ帰ってきました。ちょうどその頃、広島藩でも産業奨励として筆作りが取り上げられ発展することになりました。

明治末期には、分業システムが確立し大量生産が可能となり熊野町が毛筆の一大産地となりました。(全国生産の七〇～八〇%)

戦後は毛筆の技術を活かし、画筆・化粧筆へと発展し特に化粧筆は今日世界市場へ向けて出荷されています。

## 白い紙がキミのフィールドだ

# 生徒募集

美しい文字は日本人の心。当会は幼年時から文部科学省認定誌により系統的にご指導いたします。一般の方には実用書から芸術書まで幅広く多様的にご教授いたします。段級、師範取得もできます。毛筆・ペン字(硬筆)の併用学習もおすすめています。また、絵手紙コース・実用書コースもございますので生進学習の1つとしておはじめ下さい。

代表 菅井 松雲  
〒956-0865  
新潟市秋葉区番町2丁目12-5  
TEL (0250)24-8074  
※優秀団体賞を毎年受賞

● 毎日 展覧委員会  
● 新潟県書道協会 理事  
● 新潟県美術家連盟 常務理事  
● (財)日本書道教育学会 新潟支局長  
● (財)日本書道連盟 新潟支部長  
● 玄和書道会 常務理事  
● 松雲書道会 主宰

今がチャンス 入会プレゼント中!

入会の方にはすぐにはじめられる  
書道セットプレゼント (もしくは入会金無料)

セット内容  
大筆・小筆・筆・墨(180cc)・硯(学生用練成四角)  
文鎮・下敷・筆筒・スボイト付水筒・中筆

学生部	幼年・小学生・中学生	一般部	高校生・大学生・一般
■ 入会金	¥2,000(税込)	■ 入会金	¥3,000(税込)
■ 月謝(毛筆)	¥2,850(税込) (毎週1回、月4回)	■ 月謝(毛筆/月3回)	¥4,000(税込)~
■ 毛筆と硬筆(併習)	¥3,000(税込)	■ //(ペン字)	¥4,000(税込) (デスクペン又は水性ボールペン)
		■ 書道とペン字(併習)	¥4,500(税込)~

## 【第45回記念 墨雲展について】

- 会期 ・ 令和7年9月4日(木)～7日(日)
- 会場 ・ 新潟県民会館 3階 Aギャラリー ◎ 菅井松雲墨戯展併催
- 一般部作品 ・ 1人2点以内(半折及び、それ以上の作品 2×6尺、2×8尺)  
※ 2×6尺 以上制作経験のある人は昨年までの秋葉区展、県展、芸展作品のとりおきより1点出品可  
但し、役員は2×6尺以上の作品を2点出品とする
- 学生部作品 ・ 小学生、中学生、高校生 すべて掛軸表装の展示
- 作品〆切 ・ 6月8日(日)の錬成会で最終〆切 (作品集制作による写真撮りのため)
- 記念祝賀会 ・ 9月7日(日) 新潟東映ホテルにて開催

昨年末の告知でございまして、今年9月に当社中展墨雲展が県民会館で始まることを記念と開催されます。今月から練習に入り、たいへん切実に精一杯の準備をお願いたします。